

小町屋踏切（長野県駒ヶ根市）～ホーム移設・駅前広場・バイパス整備～

- 駅前広場整備に合わせてホームを東側に移転することで、通学生等が、踏切道を渡らずに駅へのアクセスが可能
- 踏切道の北側にバイパスを整備し、交通分散が図られたことで、安全性の向上、円滑な通行を確保

【長野県駒ヶ根市】



対策後(バイパス)

鉄道事業者名	東海旅客鉄道
鉄道路線名	飯田線
道路管理者名	駒ヶ根市
道路名	小鍛冶線

○当該踏切が抱える課題

- ・歩道なし(地域課題)

○現場特有の背景

- ・線路西側にある小町屋駅の片側ホームから、線路東側の赤穂高校へ向かう通学生が主に踏切を横断
- ・踏切道に歩道が無く、通勤通学時に歩行者と自動車輻輳
- (H21年度以前の交通量計測結果はなし)
- ・赤穂高校から、線路東側へホーム移転の要望あり

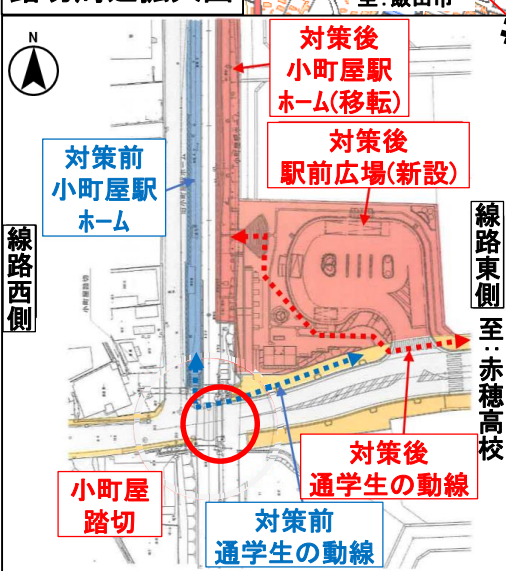
○対策概要(対策完了H21年度)

- ・踏切道の北側にバイパス(中割経塚線)を整備
- ・線路西側にあったホームを東側へ移設し、駅前広場を整備

○対策効果

- ・バイパスの整備により、周辺への交通が分散
- ・通学生は踏切道を横断する必要がなくなり安全性が向上
- ・歩行者と自動車の輻輳がなくなり安全、円滑な通行が実現

踏切周辺拡大図



対策前 → 対策後(ホーム移設)

